

WB製品の拡大・普及に全力

県コンクリート製品協組賀詞交歓会 高付加価値で社会に貢献を

千葉県コンクリート製品協同組合(花澤長文理事長)の「2013年新年賀詞交歓会」が24日、千葉市内の京成ホテルミラマーレで開かれ、総勢50人余が出席した。

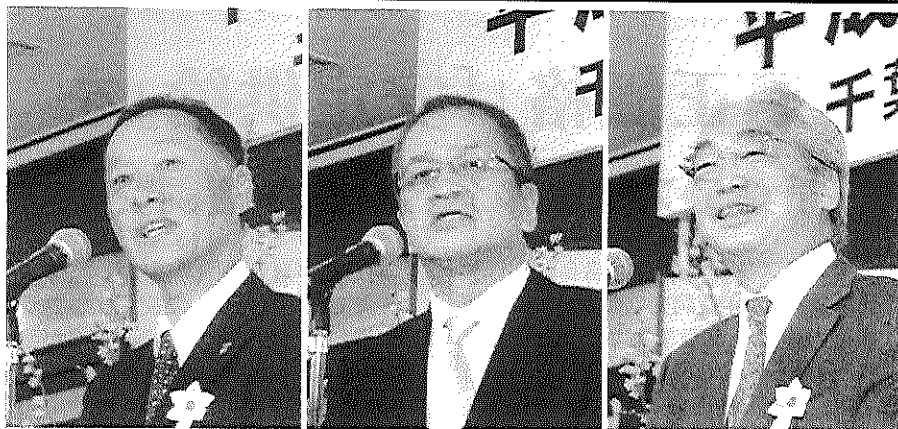
冒頭、主催者を代表してあいさつした花澤理事長＝写真中央＝は、まず、同組合が開発した雑草抑制型道路用コンクリート製品『ウェーブポウソウ』(通称WB)について、昨年6月1日から製造・販売を開始し、8月には県土整備部の新技術発表会の席でプレゼンテーションを行ったことを報告したうえで、「現場の景観を改善するなど、社会に貢献して人のためになる付加価値の高い商品で、組合の個々のユーザーでは中々得難い個有の技術を確認することも出来るなど、製品の価格、製品の供給、さらに県外メーカーの流入を抑制するという意味でも大変に優れた商品である」と説明。

また、「県土整備部でもこれらの動きを歓迎するしくみが、この4月からス

タートするやにも聞いている」とした氏は、「今年はWB製品の拡大・普及に全力を挙げて取り組んでいきたい」との抱負を述べるとともに、来賓及び組合員の支援と協力を呼びかけ、あいさつとした。

引き続き、来賓を代表して宮内常吉・県県土整備部技術管理課長と藤原誠・千葉県中小企業団体中央会専務理事が祝辞。

この席で宮内・技術管理課長＝写真左＝は、コンクリート二次製品について、「品質面や施工性、コスト面などを勘案して重要な役割を果たすとも



に、道路や河川など様々な社会資本整備の充実に不可欠なもの」としたうえで、前述のウェーブポウソウに対しては、「より良い製品を開発することは、まさに社会貢献の一つである」との認識を示した。

また「最近の景気動向調査では、新政権への期待感が出ている感じがする」としたうえで、同中央会の活動については、「微力ではあるが、1つに約800近い会員組合とフェイス・トゥ・フェイスでの話し合い、2つに意欲のある、やる気のある組合あるいは企業に私どもの支援事業での手伝いと、必要に応じて千葉県あるいは国等の中小企業施策を同時に進めていければと考えている。3つに県内中小企業の方々に、中小企業組合運動の活動状況あるいはその制度を広く適用させて頂くことを考え、本年も精一杯努力していきたい」と述べ、祝辞を結んだ。

県が県内企業開発工法・製品に支援、活性化へ来年度以降に具体化を

さらに、花澤理事長の言う「新たなしくみ」に言及した氏は、「県では来年度以降をめどに、県内企業の活性化を図るため、県内企業の方が開発した工法や製品を支援するための検討を進めている」と明言。内容については、「まだ具体化には至っていないが、もう少し後に何か目に見える形で発表出来ると思う」との発言にとどめ、「その際には協力をお願いしたい」と要請した。

一方、この日開会した県議会については、補正予算として県土整備部で約170億円を計上し、緊急経済対策として15か月予算の中で執行。今年には知

事選のため、新年度当初予算は骨格予算とし、実質の肉付けは6月補正予算となることを説明した氏は、「そのため第一四半期は発注が多少薄くなる可能性もあるが、その後の補正予算については早期発注する考えている」との見通しを示し、祝辞に代えた。

引き続き、千葉県中小企業団体中央会の藤原専務理事＝写真右＝は今年について、「圏央道の東金一木更津間の開通をはじめ、東京ディズニーランドの開園30周年、勝浦市ではB級グルメの大会が開催されるなど、明るい話題もある」と紹介。

【2013年新年賀詞交歓会来賓】

▽宮内常吉・県県土整備部技術管理課長▽藤原 誠・千葉県中小企業団体中央会専務理事▽岡村清孝・全国コンクリート製品協会関東支部長▽高村慎一・東京都コンクリート製品協同組合理事長▽友光俊郎・友光経営労務事務所▽後藤 篤・三友エンジニアリング(株)所長▽平野 久・千葉県コンクリート製品協同組合相談役、ほか



4月に「受験準備講習会」

気工事の施工管理に必要な国家資格

非会員企業が4万円。受講料には3